

お知らせ

〔返信ハガキ〕

第7回定期総会の出欠を確認させていただきます。返信用のハガキを同封いたしました。出席、欠席のいずれかに○を付け、必要事項を記入の上、9月25日までに投函していただきますようお願い致します。また、今回から個人情報保護のための目隠し用シールを同封しておりますのでご利用下さい。なお、切手は必要ありません。

▽本人情報欄

返信ハガキは、皆様の現況届けも兼ねております。現住所や勤務先などに変更がない場合でも、全て記入していただくようお願い致します。会員の増加に伴い同姓同名の方が増えていることから、卒業期や組、卒業年も忘れずに明記して下さい（はつきりしない場合は、3年生の時の担任の名前を余白に記入して下さい）。

▽実家情報欄

転居の際に連絡がいただけず不明者となるケースが増えております。本人に連絡が取れない場合でも、ご実家に連絡が可能であれば不明者とならずに済むことから、返信用ハガキにも実家情報欄を設けております。主旨をご理解の上、記入をお願い致します。特に現在学生の皆様は、卒業後の転居が予

想されるため必ず記入して下さい。本人の住所と同じ場合
・実家欄に「同上」と記入して下さい。
・本人住所と異なる場合
より確実に郵送させていただくためにも、実家住所欄の最後に○の方と記入をお願い致します。高校卒業時とご実家の住所や電話番号、○○方に該当する保護者名に変更がない場合は、「卒業時と同じ」と記入していただいても構いません。

▽不明者情報欄

同封されている不明者リストは、転居先不明により会報などが発送出来ない方々です。リストの中でご存知の方がおられましたら、返信用ハガキの不明者欄に記入していただければと思います。不明者欄だけで書ききれない場合は、宛先面の通信欄をご利用下さい。

▽ご実家の皆様へ

同窓会からの郵便物をご実家に届いたにも関わらず本人が同居していない場合は、本人の連絡先が不明となっております。お手数ですが本人にご確認の上、郵便物を転送していただくか、返信ハガキに本人の連絡先を記入して返信していただきますようお願い致します。ただし、本人の意向により同窓会からの連絡先をご実家とされる場合は、その旨を宛先面の通信欄に記入の上、ご実家の住所を本人住所として

ただいても差し支えありません（その場合は、実家情報欄は「同上」として下さい）。なお、ご実家を連絡先とする旨を既にいただいている場合は、封筒の宛名の個人用コードの横に（実）と表記されております。

【メールによる変更届け】

メールによる住所等の変更届けも受け付けております。今後、転居される場合などにご利用下さい。メールアドレスは1ページ目に記載されておりまして、（今回の総会の出欠確認は、同封されている返信ハガキでお願いいたします）。

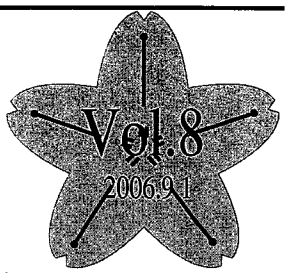
【個人情報取り扱について】

皆様から寄せられた個人情報、同窓会事務局からの連絡や郵便物の発送以外の目的では利用いたしません。情報流出にも細心の注意を払って管理にあたっております。

同窓会事務局の名前で個人情報を探る電話などがあるという情報が時々寄せられております。現在事務局から電話で尋ねるようなことは一切しておりません。20周年に向けて名簿を発行する予定もありませんので、そのような電話にはくれぐれもご注意ください。万が一、事務局で電話調査などが必要な場合は、事前に会報でお知らせいたします。何か不審な点がありましたら事務局へご確認下さい。

札幌日本大学高等学校同窓会

桜 昂 会



〒061-1103 北広島市虹ヶ丘5丁目7番地1 TEL 011-375-2611
E-mail oukoukai.snuh@sapporonichidai.ed.jp

二十周年に 向けて...

同窓生の皆様、いかがお過ごしですか？今年の夏は札幌でも30度を越す日々が続き、また雨も例年になく少なかったためか、とても暑く感じられました。この会報が皆様の手元に届くころには暑さも和らぎ、過ごしやすくなっていることでしょう。

さて、私達の母校「札幌日大高校」が、来年で開校20周年を迎えることになりました。新しい制服を身にまとった1期生約500人が、真新しい門をくぐり、高校生活をスタートさせた第1回入学式から早19年。当時の元号だった「昭和」も遠い昔の響きとなり、今、同じ校舎で学ぶ在校生の大半は平成生まれの子供たちです。一口に20年といっても人それぞれで、あつという間に感じる人もいれば、長いなあと思う人もいるかもしれません。しかし、月日は確実に流れており、札幌日大高校の歴史も厚みを増してきました。

一方、10周年を機に活動を始めた同窓会ですが、こちらは一步進んでは止まり、また一步という状況で、胸を張れるような会に成長するまでには程遠



▲7月31日の打ち合わせの様子。

いというのが正直な思いです。しかし今年に入り、事務局メンバーにも新しい顔触れが増え、これまでに多くの方が同窓会活動に関わるようになりました。まだまだ手探りの状態ではありますが、学校と共に同窓会も末長く発展していけるよう、また20周年に向けて気持ちも新たに活動していきたいと思っております。

昨年は会報を発送することができず、また定期総会も開催中止となりましたことを、この場を借りてお詫び申し上げます。
(同窓会事務局)

現在の同窓会正会員数

1期生	459人	10期生	354人
2期生	342人	11期生	261人
3期生	342人	12期生	397人
4期生	363人	13期生	320人
5期生	352人	14期生	335人
6期生	399人	15期生	345人
7期生	367人	16期生	282人
8期生	450人	17期生	322人
9期生	311人		
		計	6,001人

編集後記

来年は札幌日大高校が開校20周年を迎えます。これを期に同窓会活動をこれまで以上に活発にしようと、1期生を中心としていたメンバーから3、4、6、7、8、12期生が集まり再始動することになりました。それぞれ仕事や家庭の事情でスケジュールがなかなか合わず苦労しながら活動をしています。私たちの活動が少しでも同窓会の発展に貢献できればと思っています。

編集委員

- 中村 美千代 (1期生)
- 寺岡 麗香 (4期生)
- 辻 維之 (7期生)

中高一貫コース校舎完成

今年4月、中高一貫コースの1期生が高校に進学することに合わせ、現中学校校舎の西側に高校の中高一貫コースの校舎が増設されました。ここで、増設された校舎を少し紹介してみよう。

まず、普通教室が2、4階に各2教室ずつ増え、全部で14教室になりました。1階にある職員室の広さが倍増し、普通教室に間借りしていた視聴覚教室が正式に設置され、パソコンも完備されました。2階には、50人規模の会議室や進路相談室、3階には、6人掛けのテーブルや個人学習用のスペースが設けられた図書学習室などがあります。また、玄関脇には生徒ホールが新たに設けられ、朝や放課後の学習や生徒同士の交流などに利用されています。そのほか、校舎の北側にある1階の技術教室に隣接する形で、陶芸室が新設されました。大型の陶芸用電気窯も入り、生徒の作品が少しずつ仕上がっているようです。

既存の施設も含めて多に活用し、充実した学校生活を送ってほしいですね。

第20回 学校祭

『桜虹祭』として 新たにスタート



7月14、15日の2日間にわたり、第20回学校祭が名称も新たに開催されました。中・高同時に開かれる学校祭は、たった1学年だけだった第1回目と比べると盛大に行われているようです。しかし、生徒の熱意だけは20年前も今も変わらないもの。10数年前は生徒として参加した学校祭を、今は教師として見つめる辻維之さんに、今年の学校祭について伺いました。

振り返ってみると20年間で学校、そして周りの環境も大きく変化しました。開校当時の学校は森の中にあり、入り口には豚がいました。上野幌駅は無人駅でした。それが今は、周りはずべて住宅地に造成され、もみじ台方面からも校舎が丸見えです。北広島が市に昇格して学校の住所は「西の里」から「虹ヶ丘」に変わり、上野幌駅も無人ではなくなりました。学校の前には国道12号線から厚別区や清田区を通り36号線までを結ぶ厚別東通が開通しました。学校近くの道路沿いにはレジヤ1施設が建設され、コンビニやスーパー、薬局などもあります。今後も一層の発展が予想されます。

わが札幌日大高校もその間に中学校が開校するなど変化を遂げてきました。しかし、今も昔も変わらないのは、

学校に通うエネルギーあふれる生徒たちの姿です。そのエネルギーを大きく感じられる行事、学校祭について少し紹介します。

来年度に20周年を迎える札幌日大高校ですが、学校祭は一足先に第20回を数えることになりました。その節目の年に、学校祭をより親しみやすいものにし、自分たちで作りに上げていく意識をさらに強めたいという思いから、新たな名称を生徒や職員から公募した結果「おうこうさい」に決定しました。奇遇にも同窓会名「桜昂会」と同じ「おうこう」という名称になりました。が、漢字が異なり「桜虹」と書きます。「桜」は日本大学のシンボルで国花でもあり、付属校である札幌日大は地域連携のみならず大学や各付属校との疎通を密にしたいとの思いから、「虹」

▼こんな店名付けちゃいました。



こう」は「攻」に通じ、陽気を持って邪気を払うという意味と札幌日大の所在地「虹ヶ丘」から付けられ、「学校祭や教育が地域と結びついて成功する」という期待や思いを込めて命名されたものです。また、高校では、今しかできないことを精一杯やろうという思いを込めて「我ら十代」、中学校では、優勝目指して笑顔いっぱい翔けていこうという思いを込めて「必勝・必笑・必翔」というテーマを掲げ、より良い桜虹祭を作り上げるため、遅くまで会議や打ち合わせなどを行い、各クラスで準備を進めました。

さて、その桜虹祭ですが、中学、高校ともに7月14、15日の2日間にわたって行われました。高校はオープニングから大きな盛り上がりを見せ、クラスステージ、フリーステージ、熱唱ステージ、ミュージックフェスティバルと、どれも見ごたえのある楽しいステージが繰り広げられました。エンディングの中で行われた各部門の表彰式は、笑いあり、涙ありで、クラスや学校がひとつになったように思います。中学校でもクラスの代表者による英語暗唱や青年の主張、クラス発表、合唱コンクールと非常に中身の濃い、またレベルの高い発表が数多くあり、こちらもクラスや学校の団結が深まるものとなりました。「桜虹祭」として初めて開かれた学校祭は、それぞれのテーマも実践でき、大成功のうちに幕を閉じたと言えるでしょう。



▲札幌日大中学校の生徒たち。みんなで「ワッショイ！」



教員と同窓生各一人ずつを取り上げて、札幌日大高校に対する思いや現況などを寄せてもらいました。退職された先生方の名前も掲載しています。

同窓生



新井田幸希 (8期生)

プロフィール
●札幌国際大学短期大学部卒
●市立札幌病院勤務
医療事務の仕事に携わり、多くの患者さんと接する忙しい日々を送る。

同窓生の皆様、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか？ 十数年前の事になりますが、私は私立高校を選ぶ際に、何故かその学校の場所も制服も知らないままに受験を決め、試験を受けました。その結果、出身中学から札幌日大高校へ入学したのは私一人。不安

な気持ちで学校へ向かった入学式当日、札幌駅で上野幌への行き方を尋ねたことを多少恥ずかしく、また懐かしく思い出します。あの校舎であのセーラー服で過ごした3年間を思うと、何の迷いもなく札幌日大高校を選んだ中学生の自分を褒めつつ、通わせてくれた両親に感謝、感謝です。

高校を卒業した後は、インテリアや住宅関係の職業に憧れ短大に進学しましたが、その後いつの間にか目指す方向性が変わり、現在は医療事務の仕事に落ち着きました。今働いている部署では主に患者様の受付や料金計算などの業務に携わっています。

病院は幅広い年代の様々な方々が体調不良を感じ、悩みや不安を抱えて訪れる場所です。そういった方々と接することは、学生時代に経験したアルバイトでの接客とは違い、本当に難しいと感じます。常に患者様の立場で物事を考え、行動・応対が出来る様になるにはまだまだ未熟な私ですが、そんな私に仕事を教え、日々見守ってくださる職場の方たちの中に、最近卒業したOBのお母さんが2人いらっしゃることを知りました。OBの数が6千人を超えた今、人とのつながりや出合いの中に、札幌日大高校を身近に感じる機会が今後もっと増えていくのだろうかと考えると、とても楽しみです。

教員



伊藤弘毅

プロフィール
●副校長
開校3年目に数学教師として着任。教頭を経て、平成15年から副校長を務める。

「光陰矢のごとし」と言われますが、札幌日大高校も今年で開校満20年を迎え、卒業生は6千名です。社会の一線で、中堅として或いは陣頭にたって活動している人達が多くなってきたことに大きな喜びを感じます。

ここで本校の近況についてお知らせしたいと思います。

今年から学園祭の名称を桜虹祭としました。中高一貫生の第1期生40名全員が入学してきて初めての桜虹祭でしたが、全校一丸となって良いもの、感動するものを創り上げようとの心意気が伝わってきた非常に立派な桜虹祭でした。また、今年の卒業生の進路に関しては、日本大学に進学した者は62名、例年に比較すると少し少ない数ですが、逆に国立大学に関しては、北大7名、小樽商大5名を始めとして45名(過年度3名を含む)が合格しています。

◆退職された先生方(平成17年)

- 山本 司 (教諭/国語)
- 北村 真奈美 (教諭/理科)
- 松井 圭介 (教諭/社会)
- 相澤 壽一 (時間講師/国語)
- 佐藤 鏡一 (時間講師/数学)
- 真鍋 敏夫 (時間講師/英語)
- Takeishi Leon Ashenden (非常勤講師/英語)
- Kevin Thomas Keith (非常勤講師/英語)
- 斉藤 昌子 (養護教諭)
- 渡辺 孝 (舎監)
- 梅木 重治郎 (舎監)
- 岩井 勲 (舎監)

中村祥一元副校長(平成15年退職)が、今年の3月にお亡くなりになりました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

特集!

同窓会って?

「同窓会事務局って、実際にはどんなことをするの?」。今春、新役員候補の選出のため、新たなメンバーを募るべく働き掛けていた時に聞かれたことです。皆さんの中にも同じように思っている人が多いのでは? そこで、実際の活動や、改選による新役員候補、並びに新たに発足する幹事会のメンバーなどを紹介したいと思います。

皆さんが、同窓会の活動を直に感じられるのは、会報が手元に届いた時くらいでしょうか。それ以外の活動については、なかなか目に見えてこないというのが実状だと思います。では、実際の活動を順に追ってみましょう。

1月〜卒業生への記念品を選び、業者に発注します。

2月末または3月初め、卒業式の前日に同窓会の入会式があります。ここで、記念品を贈呈します。

7、8月、会報を作成し、業者に発注します。また、発送に向けて会員名簿の最終チェックを行います。

9月、会報を発送します。決算書を

作成し、次年度の事業内容や予算を決めます。また、総会に向けて議案書を作成します。

10月第1日曜日、定期総会を開き、1年間の事業報告や次年度の事業内容などについて承認を得ます。

その他年間を通して、会員から寄せられた住所変更などの名簿管理も行っています。また、寄付金を募るなど特別な事務が発生した場合は、臨時会報の発行や臨時総会を開催する場合もあり、今年から来年にかけてのように、周年事業にも取り組んでいます。これらの活動に際し、全員が集まる役員会を開くのは大きな事を決める時のみで、それ以外は、担当ごとに連絡を取り合い作業を進めています。

いかがですか? 少しは想像できたでしょうか? 携帯電話やメールなどの活用により、同窓会発足当時よりは、だいぶ作業のやり取りが楽にはなりませんが、それぞれ仕事を持っている上での活動は、やはり大変なものがあります。ここ数年は数人で活動していたため役員にかかる負担も大きく、なかなか思うように活動できませんでした。そこで今年、札幌日大高校・中学校で教師をしている卒業生たちの協力を得て、同窓会事務局の強化を試みしました。転勤などで活動が難しくなった役員に代わって3人の新役員候補を迎

え、役員会の下に幹事会を発足。結果、1期生だけではなく幅広い期のメンバーが集まりました。

では、新役員候補と幹事会メンバーを紹介します。新メンバー4人からコメントもいただきました。

●新役員候補●

- 会長 中里 仁 (1期生)
- 副会長 加藤 一 (1期生)
- 幹事長 寺岡 麗香 (4期生)
- 副幹事長 中村美千代 (1期生)
- 西田 康人 (1期生)
- 松川 一美 (7期生)

- 会計 辻山 弥生 (3期生)
- 藤原友紀恵 (6期生)
- 会計監査 小澤 忠謙 (6期生)
- 幹事会メンバー●
- 常任幹事 寺岡 克啓 (4期生)
- 辻 維之 (7期生)
- 佐藤 潤 (12期生)
- 北川しのぶ (4期生)
- 住友 静恵 (6期生)
- 新井田幸希 (8期生)
- 小林 義典 (12期生)

※幹事候補は他にもいるため、まだ増える可能性があります。

寺岡 克啓
この度、開校20周年の記念式典に向けて同窓会のお仕事をお手伝いさせていただくことになりました。皆さんと同窓会をより身近なものに感じていただけたよう、微力ながら頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。



北川 しのぶ
この度、幹事として同窓会活動をお手伝いすることになりました。母校ならびに同窓会の益々の発展の為に、微力ながら精一杯務めさせて頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。



松川 一美
この度、新しく同窓会役員に加わることになりました。20周年を迎えます先輩たちの築いた基礎を後輩たちに引き継ぐため、力を尽くしたいと思っております。皆様もご協力宜しくお願い致します。



佐藤 潤
この度、同窓会常任幹事を務めさせて頂くことになりました。同窓会の活動が活発になるよう精一杯取り組んで参りますので、同窓会活動へのご理解とご協力を宜しくお願い致します。



―全国高等学校総合体育大会(高体連)―

【テニス部】

- ▽札幌支部予選 省略
- ▽全道大会 省略
- 男子団体 優勝
- 個人ダブルス 佐藤・工藤 3位
- 個人シングルス 田中・濱口 ベスト8
- 工藤康史 2位
- 佐藤悠太 3位
- 田中紀行 3位

- 女子団体 優勝
- 個人ダブルス 赤石・赤石 2位
- 千葉・加藤 ベスト8
- 赤石由佳 2位
- 千葉奈々美 3位
- 赤石由衣 3位

- ▽全国大会
- 男子団体 出場
- 個人シングルス 工藤康史 3回戦
- 佐藤悠太 出場
- 田中紀行 出場
- 赤石・赤石 出場
- 千葉奈々美 2回戦
- 赤石由佳 出場
- 赤石由衣 出場

- ▽バドミントン部
- ▽札幌支部予選
- 男子団体 3位
- 個人ダブルス 久保田・境 3回戦
- 個人シングルス 佐々木・梅津 5位
- 梅津 5位
- 女子団体 3回戦
- 個人シングルス 黒田 2回戦

- ▽全道大会
- 男子団体 出場
- 個人ダブルス 佐々木・梅津 2回戦
- 個人シングルス 佐々木 3回戦
- 梅津 出場

【野球部】

- ▽札幌支部予選 ブロック準優勝
- ▽女子バレー部
- ▽札幌支部予選 決勝トーナメント出場
- ▽男子バスケットボール部
- ▽全道大会 ベスト4
- ▽女子バスケットボール部
- ▽札幌支部予選 1回戦
- ▽サッカー部
- ▽札幌支部予選 2回戦
- ▽野球部
- ▽札幌支部予選 2回戦

部活動の記録

今年の大会記録の中から、高体連を中心に掲載しました。テニス部、剣道部、陸上部、放送局が全国大会出場を果たしています。*札幌支部予選の個人戦は2回戦進出以上のみ。また、一部省略しています。

【剣道部】

- ▽札幌支部予選 省略
- ▽全道大会 省略
- 男子団体 準優勝
- 女子団体 優勝
- 個人 優勝
- ▽全国大会 準々決勝
- 女子団体 2回戦
- 個人 鈴木紗知

【柔道部】

- ▽札幌支部予選 省略
- ▽全道大会 準優勝
- 女子団体 準優勝

【陸上部】

- ▽札幌支部予選
- 男子110MH 森 祐輔 1位
- 男子400M 岡部健吾 5位
- 栗本拓弥 6位
- 400Mリレー 二階堂智美 3位
- 1600Mリレー
- 女子100M 細川マリサ 7位
- 女子400M 中村 愛 4位
- 中村 愛 6位
- 800M 中村 愛 6位
- 400MH 細川マリサ 1位
- 400Mリレー 細川マリサ 6位
- 1600Mリレー 1位

- ▽全道大会
- 男子110MH 森 祐輔 3位
- 男子400M 中村 愛 3位
- 細川マリサ 3位
- 1600Mリレー 8位
- 女子400M 中村 愛 出場
- 女子110MH 森 祐輔 出場
- 400MH 細川マリサ 出場

【競泳同好会】

- ▽札幌支部予選
- 女子自由形100M 丁子詩織 2位
- 自由形200M 丁子詩織 1位

【チアリーディング部】

- ―全日本選抜チアリーディング選手権大会― (高校から一般まで)
- 総 合 56位
- 自由演技 49位
- ※道内の出場高校の中では、総合3位/自由演技2位

【放送局】

- ―NHK杯全国高校放送コンテスト―
- ▽石狩地区大会
- 総合部門 最優秀賞
- 研究発表部門 最優秀賞
- 朗読部門 最優秀賞
- 高山亜実 優秀賞
- 佐々木絵里 入賞
- 永石 匠 入賞
- 長尾真理子 優秀賞
- 庄司のぞみ 入賞
- アナウンス部門 最優秀賞
- 創作ラジオドラマ部門 最優秀賞
- 創作テレビドラマ部門 入賞
- テレビドキュメント部門 優秀賞
- ▽全道大会 (4年連続6回目)
- 総合部門 最優秀賞
- 研究発表部門 最優秀賞
- 朗読部門 最優秀賞
- 高山亜実 優秀賞
- 佐々木絵里 入賞
- 永石 匠 入賞
- 長尾真理子 優秀賞
- 庄司のぞみ 入賞
- アナウンス部門 最優秀賞
- 創作ラジオドラマ部門 最優秀賞
- 創作テレビドラマ部門 入賞
- テレビドキュメント部門 入賞
- ▽全国大会
- 朗読部門 優良賞
- 高山亜実 優良賞
- 佐々木絵里 出場
- 永石 匠 出場
- 長尾真理子 出場
- 庄司のぞみ 優良賞
- 研究発表部門 奨励賞

その他、春季大会などにおいても好成績を収めた部が数多くあります。後輩たちの今後の活躍にも期待したいと思います。



第7回 桜昂会 定期総会

～平成18年10月1日(日) 午前10時30分より開催～

10月1日(日)午前10時30分から、第7回定期総会を札幌日大高校で開催致します。何かとお忙しいこととは思いますが、皆様お誘い合わせの上お集まりいただきますようお願い申し上げます。なお、総会の議案については、以下の事を予定しております。

①平成18年度の事業報告及び決算報告
同窓会会報の発行や卒業記念品の贈呈など、今年度の事業内容とそれに伴う運営費・活動費について報告をし、承認を得たいと思います。

②役員改選
総会において任期満了となる現役員に代わり、新役員となる候補者に対する承認を得たいと思います。また、今

春から仮運営されている幹事会を正式に発足させ、幹事となるメンバーの承認も得たいと思います。

③平成19年度の予定事業 及び予算案審議
以下の事業と、それに伴う予算について審議を行います。

- 卒業記念品の贈呈
- 卒業生への特別奨学金の贈呈
- 同窓会会報の発行
- 定期総会
- その他

④20周年記念事業及び予算案審議
来年、札幌日大高校が開校20周年を迎えることに合わせて同窓会で行う記念事業について審議したいと思えます。現在、同窓会事務局では、ホームページの開設を中心に、それ以外の事業についても検討を重ねております。

⑤その他
(a)同窓会会費について
以前からの検討項目であった同窓会会費について、引き続き改訂の提案をしたいと思えます。

現在の同窓会は、卒業時に納められる終身会費(5千円)によって運営されています。終身会費は1期生の卒業時に定められましたが、当時より郵便料金が値上がりしていることに加え、会員数の増加に伴い通信料も年々増加しており、また、毎年の活動費以外に

も、周年事業や在校生への支援(野球部の甲子園出場のための寄付金など)が今後も想定されることから、いずれ支出が収入を上回るようになることが考えられます。今後の収支試算の結果や他校なども参考にした上で、改訂額などについて審議したいと思えます。

同窓会会員からの寄付金などを随時募っていくことも合わせて検討したいと思えます。

(b)幹事会の運営について
幹事会の発足が正式に承認された場合、今後の運営方法などについて幅広く意見を募り、参考にしていきたいと思えます。

活動報告

昨年は、同窓会役員の諸事情により役員会などの日程調整ができず、最小限の活動しかできませんでした。会報が発行できなかったことで未報告になっている平成16年度と17年度の活動報告をさせていただきます。

平成16年度活動報告

①事業報告
卒業生への記念品贈呈
平成16年3月1日の同窓会入会式で第15期生345名へ卒業記念品(印鑑付きボールペン)を贈呈。

卒業生への特別奨学金の贈呈
該当者無し

同窓会会報の発行
『桜昂会Vol.7』を、不明者り

平成17年度活動報告

①事業報告
卒業生への記念品贈呈
平成17年3月1日の同窓会入会式で第16期生282名へ卒業記念品(印鑑付きボールペン)を贈呈。

卒業生への特別奨学金の贈呈
該当者無し

同窓会会報の発行
未発行

平成16年度一般会計決算報告

【収入】	
平成15年度からの繰越金	2,891,407
第15期生同窓会費 (345名+14期生1名)	1,730,000
雑収入(預金利息)	45
合計	4,621,452
【支出】	
(運営費)	
事務通信費	495,250
会議費(交通費・茶菓子)	23,123
(活動費)	
卒業記念品	253,575
同窓会会報	208,215
敬弔費	0
特別奨学金	0
(事業積立)	
20周年積立	173,000
同窓会館設立基金	173,000
合計	1,326,163
【残高】	
収入 - 支出 =	3,295,289 (次年度繰越金)

平成17年度一般会計決算報告

【収入】	
平成16年度からの繰越金	3,295,289
第16期生同窓会費(281名)	1,405,000
雑収入(預金利息)	21
合計	4,700,310
【支出】	
(運営費)	
事務通信費	770
会議費(交通費・茶菓子)	4,000
(活動費)	
卒業記念品	217,560
同窓会会報	0
敬弔費	0
特別奨学金	0
(事業積立)	
20周年積立	140,500
同窓会館設立基金	140,500
合計	503,330
【残高】	
収入 - 支出 =	4,196,980 (次年度繰越金)

同窓会活動の活発化

開校20年目を迎え、他校に比べればまだまだ歴史が浅い札幌日大高校ですが、今日まで何事もなく築き上げてこれたのは、学校長を始めとして教職員、事務職員、卒業生、そしてPTAの方々の数知れぬ多くの力と支えによるものと強く感じています。



会長 中里 仁 (1期生)

我々の同窓会(桜昂会)は発足して11年目になります。何も分からない状態でスタートし、会員(卒業生)は毎年増えていく一方で活動はなかなか軌道に乗らず、最近は最小限の活動に留まり、ほぼ休止状態でした。会員の皆様には申し訳なく、深く反省しています。今年に入り、開校20周年記念事業への準備を機に協力を呼びかけ新体制で活動再開となりましたが、これまでは活動内容が分からないことでメンバーが増えず、今に至ったのではないかと思います。会員の皆様にも、今後の同窓会活動への参加と、各行事への協力を心からお願い申し上げます。

同窓会会報に『広告』を掲載してみませんか?

同窓会事務局では、年に1度の割合(臨時発行もあり)で発行している同窓会会報に、広告を掲載していただける同窓生を募集しています。広告は勤務先に限らず、趣味や習い事などの団体などでも構いませんが、内容によってはお断りさせていただきます。また、同窓生の名前(掲載者)を必ず入れさせていただきます。

掲載サイズは、縦4・8センチ×横7センチです。掲載料金や原稿の入稿方法などについては、同窓会事務局までメール(1ページ目参照)でご連絡下さい。追ってご連絡させていただきます。

副幹事長 富樫 光典 (1期生)
会計 西田 康人 (1期生)
辻山 弥生 (3期生)
洪谷 俊之 (4期生)
会計監査 小澤 忠謙 (6期生)

平成17年度活動報告

①事業報告
卒業生への記念品贈呈
平成17年3月1日の同窓会入会式で第16期生282名へ卒業記念品(印鑑付きボールペン)を贈呈。

卒業生への特別奨学金の贈呈
該当者無し

同窓会会報の発行
未発行

名鉄観光
オンライン宿泊予約サイト
まいやど
まいやどお得意様サイト
URL: <http://www.myyado.com/55/>
会員登録の際、右記のお得意様コードが必要です。 **96006**
名鉄観光サービス株式会社 札幌支店
〒060-0003 札幌市中央区北3条西3丁目(北三条ビル1F)
Tel 011-241-4986(代) / Fax 011-241-0154
掲載者/北崎義貴 (2期生)

JR北海道旅行センター教育旅行支店
TEL 011-223-5766 FAX 011-223-5767
掲載者/巖石樹男 (5期生)